

今年度の研究計画

3年継続の3年目です



これまでの研究主題

- 2000～2001年度 「選択授業で使える実験ネタ」の開発
 2002～2003年度 「選択学習と必修理科との連携・系統化」
 「新指導要領と教科書の検討」
 2004～2011年度 「わかる楽しい授業づくり」
 2012～2019年度 「観察・実験方法と教材・教具の見直し」
 2020～2022年度 「深い学びを促す指導」 ※コロナにより3年計画に変更

2022年度の研究計画

研究の主題 「深い学びを促す指導」

～ 効果的な教材・教具と授業展開 ～

研究仮説

観察・実験を通じた科学的な体験を行うことが難しい現在の状況を踏まえ、授業展開や教材・教具を工夫し、様々な手立てを講じることにより、科学的な知識や概念が定着し、科学的に調べる能力や自然を探究しようとする能力を育成することができる。

研究方法

① 観察・実験方法の見直し

- 生徒が理解しにくい部分を中心に観察、実験方法の開発や改善などの研究を進める
 (新しいものにこだわらない。以前から行われている観察、実験についても検証する)

② 教材・教具の見直し

- 生徒が理解しにくい部分を中心に教材・教具(装置・器具)の開発や改善などの研究を進める
 (新しいものにこだわらない。以前から利用されている装置・器具についても検証する)

③ 課題のある学習内容をいかに授業展開すべきか

- 実験が上手いいかない、生徒が理解しにくいなど、指導上の課題が残っている学習内容や、生徒が自ら探求し課題解決する授業など、生徒の深い学びにつながる授業をどう展開すべきかを研究する。

④ 「主体的・対話的な学習活動」を取り入れ、いかに授業展開すべきか

- 課題を解決するために、説明・論述等の活動を取り入れ、生徒の思考力・判断力・表現力等を伸ばす授業をどう展開すべきかを研究する

※ ①～③は、レポート交流や分科会の発表を中心に研究を進めます。

— 「深い学びを促す、効果的な指導」の部分は、ICT機器の活用や、自ら進んで学びを深められるような内容に焦点化した指導方法やアクティブラーニングの観点を盛り込んだ内容で研究を推進していく。

※ ④については、公開授業の中で交流をはかり研究を進めます。

— 市町村単位の公開授業の中でも「主体的・対話的な学習活動」を意識した研究を推進していく。さらに組織的に授業づくりを行い(プレ研や授業研など)、効果的な研究を行う。

今年度の研究内容

- ① 観察・実験方法の見直し
- ② 教材・教具の見直し

※一人一台のタブレット端末が導入され、使用頻度も上がってきていることを受け、今年度も紙媒体のレポートまたは作成したデジタルコンテンツを持ち寄り、管内の中学校理科の充実につなげる。

- ③ 課題のある学習内容の研究を継続

※ 生徒が自ら探求し、深い学びが得られる授業展開の方法および工夫点。

- ④ 「主体的・対話的な学習活動」を取り入れた授業の研究

※ コロナ前と同様、レポート課題とせず公開授業で研究を進める。

昨年度はコロナ禍でありながらも、密を避けながら二次研究協議会を実施することができました。運営等で不備もあったかと思いますが、初めての形式ゆえご容赦いただけるとありがたいです。今年度についてはどのように二次研究協議会を行うか未定ですが、決まり次第お知らせするとともに、丁寧な運営を心がけたいと思います。

昨年度の事後のアンケートからは、授業を軸に据えてほしいという要望やデジタル教材がメインになることに違和感を感じるとのご意見の一方で、タブレット PC やデジタルコンテンツを生かした授業について継続の要望も多数見られました。

一人一台のタブレット端末が導入され、機器について「先生が使う」から「生徒が使う」へ考え方のアップデートが求められています。併せて授業についても「指導者が教える」から「学習者が自ら学ぶ」という変更も求められています。これまでの授業研究も大切にしながら、タブレット端末の効果的な活用についての発信もしていけたらと思います。

今後の予定

- | | | |
|-----|------------------------|-----------------------------------------|
| 4月 | 各市町村研究協議会 | 今年度の研究について周知・確認 |
| 5月 | 推進委員研究協議会 | 各市町村研究協議会の結果報告、今後の予定について
レポートタイトルの集約 |
| 8月 | 各市町村研究協議会 | レポート集約 |
| 10月 | 専門部会2次研究協議会(中心サークル:江別) | |

実技研修会については今のところ未定ですが、昨年度末より複数回、実験方法についてのオンライン実技研修会を実施しています。今年度も実施することになれば、一緒に実験技術を向上させませんか。興味のある方は、事務局長 岡崎(千歳中)まで連絡ください。

今年度は3年計画の3年目となります。コロナウィルスの扱いも変わってきていますが、昨年度ともまた異なる形式で二次研究協議会が行われることが想定されます。部会員の皆様には何かとご迷惑をおかけすることと思いますが、ご理解とご協力をよろしくお願い致します。また、デジタルコンテンツ集についても、授業改善の一助となればと思います。ぜひご活用ください。

